

XP Seriesの主な仕様

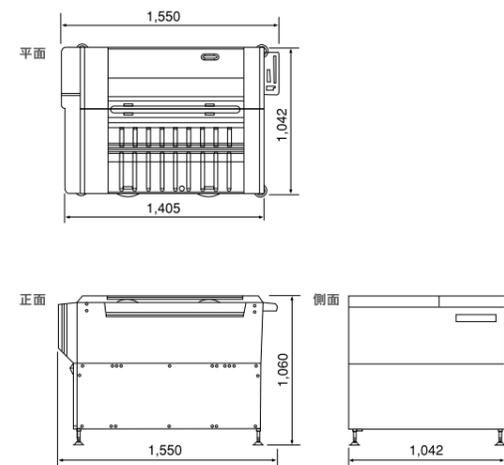
感度	120mJ/cm <sup>2</sup>	処理液	XP-D(現像液)/XP-DR(補充液)/XP-G(ガム液)
対応光源	半導体レーザー(830nm)	網点再現性	200線 1~99%
セーフライト	白色灯下	FMスクリーニング適性	TAFFETA20(他社FMスクリーニングにも適応)

XP-940R/1310Rの主な仕様・外形図

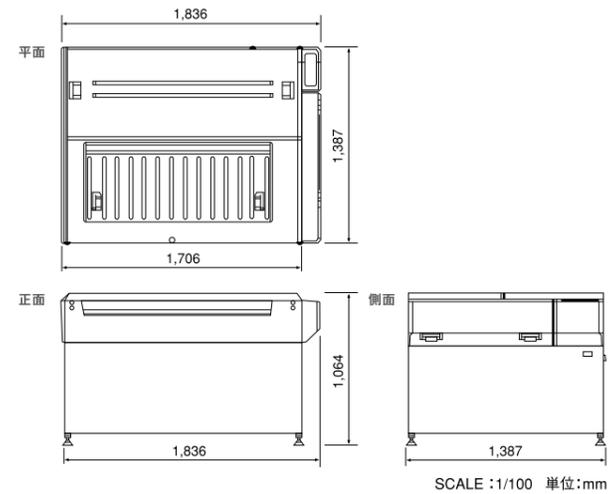
	XP-940R	XP-1310R
形式	ローラー搬送による液浸透漬方式(片面仕様)	
処理工程	[現像処理] 現像→リンス→フィニッシング→乾燥	
搬送方式	ローラー搬送	
処理感材	サーマルCTPプレート[ポジタイプ]XP-F/XP-L	
プレートサイズ	幅:254~940mm 長さ:370~1600mm (ST940F時は1160mmまで) 厚み:0.15~0.40mm	幅:254~1310mm 長さ:370~1600mm (ST1310F時は1160mmまで) 厚み:0.15~0.40mm
薬品	現像液:XP-D/現像補充液:XP-DR/フィニッシングガム液:XP-G	
膜面通し勝手	上向き	
現像時間	12秒	
処理能力	最大76版/時 幅:800×長さ1030mmの縦通し、版間隔4秒処理時	最大105版/時 幅:800×長さ1030mmの縦通し、版間隔4秒処理時
処理速度	標準1400mm/分 Dry to Dry=42秒	標準2000mm/分 Dry to Dry=39秒
タンク容量	現像:20L リンス:4L フィニッシングガム:4L	現像:45L リンス:9L フィニッシングガム:9L
乾燥方式	水平搬送/温風吹き付け方式	
電源	AC200V 単相2.7kW 13.5A 50/60Hz または3相2.7kW 9A 50/60Hz	AC200V 単相4.8kW 24A 50/60Hz または3相4.8kW 16A 50/60Hz
外形寸法	1,550(幅)×1,042(奥行)×1,060(高さ)mm	1,836(幅)×1,387(奥行)×1,064(高さ)mm
重量	約300kg	約500kg
標準装備機能	母液調液機能/自動補充機能	
標準付属品	フィルター/軸受け/洗浄用具	
オプション機器	ST940F T-6000 Conveyor	ST1310F/FL T-9000 ConveyorII
オプション品	XPセンサーキット(L/Fキット)/挿入台/受台/シグナルタワー/冷却器接続キット/リエントリー機能	

※ XL-Tは専用処理システムになります。(XL-1310/940)

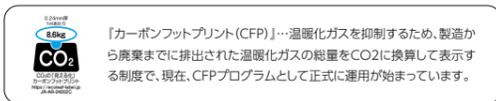
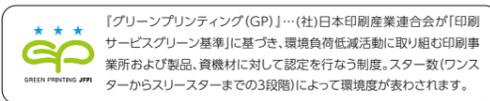
■ XP-940R 外形図



■ XP-1310R 外形図



SCALE : 1/100 単位:mm



THERMAL CTP SYSTEM  
FUJIFILM  
**SUPERIA**  
サーマルCTPプレート  
サーマルCTPプロセサー

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。 ※社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。



●本製品についてのお問い合わせは  
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社  
本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル  
TEL. 03 (6419) 0300  
ホームページ <http://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

# FUJIFILM SUPERIA サーマルCTPプレート

□ XP-F □ XP-L □ XL-T

高画質・高安定ハイグレードECOプレート

## XP-F

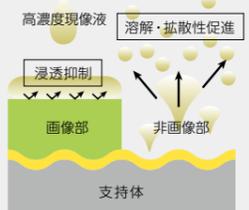


### ■安定性を徹底追求

「RDD(高速分散現像)技術」により、高濃度の現像補充液「XP-DR」を少量補充で処理可能。

#### RDD(高速分散現像)技術

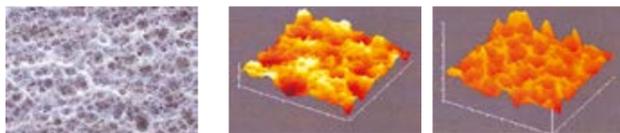
サーマルポジプレートの露光メカニズムにおいては、現像液が高濃度になるほど、非画像部(露光部)の感光層が溶解・拡散しにくくなる、という傾向があります。そこで、「XP-F」では、優れた拡散促進機能を持つ特殊な新素材を表層に添加する「RDD技術」により、非画像部の拡散性をアップ。高濃度な現像液でも速やかに安定した現像が行なえるようになり、補充量・廃液量の大幅な低減が可能になりました。



### ■再現性を徹底追求

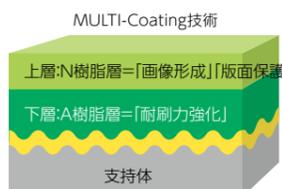
支持体には、富士フィルム独自のMULTIGRAIN V(MGV)を採用。従来のCTPプレート用マルチグレイン構造に「小波」を融合することで「水/インキバランス」をさらに高め、「中波」を大径化することにより、耐刷力と刷りやすさも大きく向上。つねに高品位な刷り上がりが得られ、卓越した階調再現性により、高精細・FMスクリーニング適性も一段とアップしています。

▼支持体拡大写真 ▼AFM解析による波長別鳥瞰図(MGV砂目)



### ■耐キズ性を徹底追求

支持体におけるMGV技術に加え、感光層には、実績ある「MULTI-Coating技術」を投入。それぞれの役割を持ったN樹脂層・A樹脂層を最適なバランスでコーティングする、富士フィルム独自の高度な塗布技術により、両立の難しい「再現性」と「耐キズ性」を、高い次元で同時に実現しています。

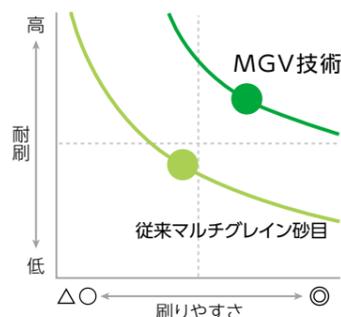


### ■UV印刷適性を徹底追求

2つの樹脂層を最適なバランスで重層した「MULTI-Coating技術」によって、優れたUVインキ適性・耐薬品性を実現。刷りやすさ、美しさをフルに活かし、付加価値の高いUV印刷に手軽に取り組めます。

### ■刷りやすさ・耐刷性を徹底追求

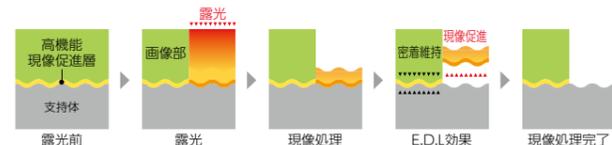
支持体のMGV技術、感光層のMULTI-Coating技術の相乗効果によって、刷りやすさと耐刷力を高いレベルで両立。印刷現場での安心感が違います。



### ■現像安定性を徹底追求

高機能現像促進層「EDL」が露光部(非画像部)の現像を効果的に促進。非露光部(画像部)の現像を抑えるための「現像抑制剤」を使用する必要がなく、現像液活性度を電導度で直接モニターし、「ZAC技術」により自動制御が可能になるため、長期にわたり安定した現像品質が得られます。

画像形成時におけるE.D.L.効果



### ■インキ着肉性を徹底追求

感脂化剤を加えた独自の感光層により、優れたインキ着肉性を発揮。刷り出し時間の短縮、損紙の減少によってトータルコストの削減に貢献します。

富士フィルムの省資源ソリューション『FUJIFILM SUPERIA』の根幹をなすのが、『XP-F』をはじめとするサーマルCTPプレートです。品質・刷りやすさ・耐刷性など、すべてにおいて高い水準を目指し、標準タイプから高耐刷、超高耐刷タイプまで、ラインアップも万全。高品質かつ安定した印刷を実現しつつ、CFP表示でCO<sub>2</sub>削減量を見える化することで、印刷物の付加価値アップに大きく貢献します。

強く美しいロングランプレート

## XP-L



### ■歴然の耐薬品性・耐刷力

砂目との密着性が高く、耐摩耗性・耐薬品性に優れた感光層を採用することで、耐薬品性・耐刷力がアップ。油性印刷・UV印刷ともに「XP-F」比約1.5倍の耐刷力を発揮します。

### ■安心の画像品質

砂目にはXP-Fと同様のMGV技術を採用。ロングラン印刷時にも、シャープかつ滑らかな再現が、つねに安定して得られます。また、高精細・FMスクリーニング適性も万全です。

### ■優れたマッチング精度

XP-Fと同等の感光層を使用しているため本機と同一条件で露光でき、網点再現も本機と同等。平台校正と本機とのマッチング精度が高まることで、最終印刷物の品質が向上します。

### ■快適なスポンジ滑り性

実績ある平台校正用PS版「FPP」の砂目を採用。スポンジの滑りがなめらかになり、校正作業の効率化が図れます。

超高耐刷サーマルプレート

## XL-T



### ■圧倒的な耐刷性

新規素材の採用により、「XP-F」比約2倍の圧倒的な耐刷性と安定した仕上がり品質が得られます。パーニング処理によってさらに耐刷力を高めることも可能です。

### ■専用の処理システム

プレート性能を最大限に引き出すため、XL-Tには専用の処理システム・薬品を用意。XPプレート同様の現像液制御技術(ZAC)を適用し、液寿命は「3カ月または8,000m」というロングライフを実現。液使用量・廃液量の削減、メンテナンスの省力化に貢献します。

### ▶ 高信頼性を支える生産技術

富士フィルム製CTPプレートの高い信頼性を支えているのは、版材製造拠点である吉田南工場(静岡県榛原郡)の高度な生産技術。独自設計の生産プロセスと万全の品質管理体制により、つねに最高品質のCTPプレートを安定供給しています。



### ▶ CFP表示でCO<sub>2</sub>削減効果を公表

製品の原材料調達から廃棄までの全工程で排出された温暖化ガスの総量をCO<sub>2</sub>に換算して、製品パッケージやカタログなどに明記するカーボンフットプリント(CFP)。購入者に「より環境負荷の少ない製品」を選択していただくための、環境負荷の「見える化」として、各業界で普及が進んでいます。富士フィルムは、率先して印刷業界全体のCO<sub>2</sub>削減に貢献するために、いち早く「CFP表示」を進めています。



### ▶ クローズドループ・リサイクル技術

クローズドループ・リサイクルで製造される富士フィルム製CTPプレートのCFPにおける環境負荷値は「8.6kg/m<sup>2</sup>」\*1。再生アルミを使用したことで全量アルミ新地金(CFP値12kg/m<sup>2</sup>)を使う時に比べ、約28%のCO<sub>2</sub>排出量の削減を実現しています。

\*1 カーボンフットプリント事業での検証データ(0.24mm厚)

